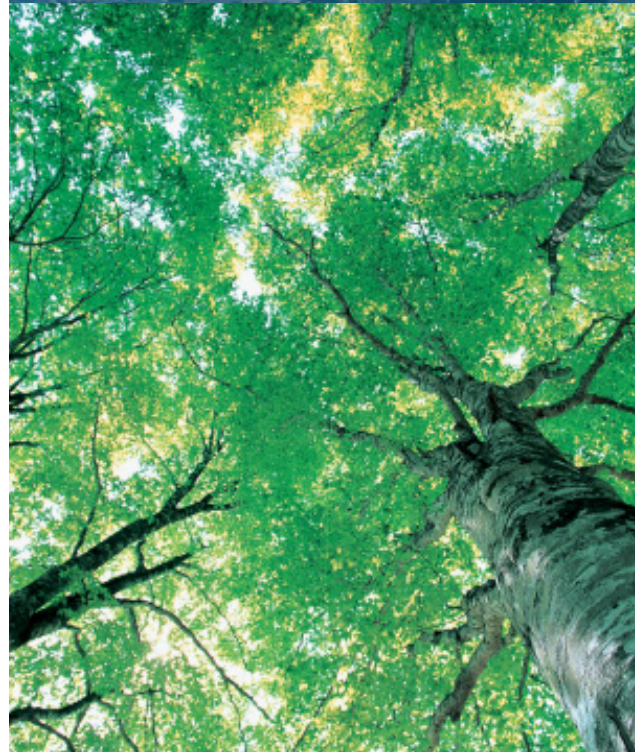


GREETINGS

ごあいさつ



左：代表取締役会長 佐藤 良晴
右：代表取締役社長 小野木 聖二



山武は、2006(平成18)年12月1日、創業100周年を迎えました。1906(明治39)年、創業者・山口武彦によって「欧米機械工具直輸入・山武商会」として産声をあげ、その後米国ブラウン社(後のハネウェル社)の計器類の製造・販売を主業務とした当社は、明治・大正・昭和・平成の四代を通じ、オートメーション筋に歩んでまいりました。「先進技術によって人間を苦役から解放する」という創業の精神は伝統として引き継がれ、計測と制御の技術、そして永年にわたって培った経験とノウハウをもとに、社会とお客さまの「省」に対する課題の解決に貢献してまいりました。

創業から100周年を迎えた今、当社を取り巻く環境は大きく変化しており、併せて社会やお客さまからの当社に対する期待も変化しつつあります。2世紀のスタートを切るに当たり、当社は、機械を制御するという発想から人の充足感をつくるという発想へ転換し、「人を中心としたオートメーション」で、人々の『安心、快適、達成感』を実現するとともに、地球環境に貢献します」を山武グループの新しい企業理念としました。さらに、この価値を共有するグループシンボルとして、azbil (Automation・Zone・Builder) を制定し、グループ理念の実現に向け、グループ一丸となって邁進してまいります。

幾多の変遷を経て当社が今日あるのは、いうまでもなく多くの先輩各位の努力によるものであります。100年の足跡をこの『山武百年史』として刊行する趣旨の一つは、現在の役員・社員が先人の事跡をよく知り、多くの教訓を学び、脈々と受け継がれてきた山武スピリットから将来に処する貴重な示唆を得てもらいたいということでありま。またこの機会に、株主、顧客をはじめ、各界の関係者各位に当社の足跡をご紹介します、永年にわたるご指導、ご愛顧に心から感謝の意を表わすものであります。

これまでも増して事業環境の変化が激しくなる今後、さらに時代の要請に応えるためには不断の努力が求められますが、永年にわたり培われてきた創業以来の精神を常に忘れることなく、山武の2世紀創りに挑戦し続けていくつもりであります。今後ともいっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

佐藤 良晴

代表取締役社長

小野木 聖二